

Direct-Information of Orienteering in Nippon

(公社) 日本オリエンテーリング協会 理事会・事務局便り

第 53 号 (2025 年 10 月 17 日発行)



本号の内容

- ・全日本オリエンテーリング大会ミドル種目における未帰還者発生について
- ・東京・日比谷でデフリンピック金メダル第 1 号が決まる！日比谷にオリエンテーリングを観に行こう！
- ・ワールドゲームズ(TWG2025)報告
- ・世界トレイル O 選手権大会(WTOC)2025 報告
- ・今後の公認大会・講習会のお知らせ

●全日本オリエンテーリング大会ミドル種目における未帰還者発生について (副会長：村越真)

10 月 4 日に開催された当協会が主催する全日本オリエンテーリング大会ミドル種目で、競技者 1 名が未帰還となり、現時点でも発見に至っておりません。

当日からの経緯については、状況に応じて Web サイトにてリリースしました。また、10 月 14 日には緊急の安全説明会を開催し、詳細を報告いたしました。

[「【緊急】オリエンテーリング大会の安全対策のための説明会」](#) (動画を公開しています)

今後の捜索態勢については、10 月 16 日に有志による継続的な捜索活動が開始されることを発表しました。

[「有志による捜索活動の立ち上げについて」](#)

当協会といたしましては、捜索活動への継続的な協力はもとより、今後に向けた原因の究明、さらなる安全対策の協議、リスクマネジメント啓発の強化にあたる所存です。

捜索にあたってくださった地元の那須塩原警察署、那須塩原市消防団、那須塩原市消防団塩原支団、那須地区消防組合、栃木県消防防災航空隊の方々、オリエンテーリング諸団体・競技者の方々のご尽力に対して、深く御礼申し上げます。また、ご心配をおかけした関係の皆様、諸団体に深くお詫び申し上げます。

上記以外のリリースはこちらをご参照ください。

10 月 6 日 [「全日本オリエンテーリング大会ミドル種目における未帰還者発生について」](#)

10 月 7 日 [「全日本オリエンテーリング大会ミドル種目における未帰還者発生について\(2025 年 10 月 7 日 19 時時点\)」](#)

10 月 8 日 [「参加者の安全確保のために」](#)

10 月 10 日 [「全日本大会未帰還者に対する捜索ボランティアについて」](#)

10 月 13 日 [「全日本大会未帰還者に対する今後の捜索について」](#)

●東京・日比谷でデフリンピック金メダル第1号が決まる！日比谷にオリエンテーリングを観に行こう！
(デフリンピック委員会 木村佳司)

東京 2025 デフリンピックは、世界各国から 3000 人のデフアスリートが 21 の競技で競い合う、国際マルチスポーツイベントです。すべての競技の中で、オリエンテーリングのスプリント競技が最初に行われ、デフリンピックの金メダル 1 号がオリエンテーリングで決まります。場所は日比谷公園。2 日間にわたって日比谷がオリエンテーリングのアーバン競技のフィールドになります。

◆東京 2025 デフリンピック観戦案内

<https://deaflympics2025-games.jp/Watch-the-Games/Spectator-Information/#gsc.tab=0>

◆スケジュール

11 月 15 日(土) 8:00 スプリントスタート / 16:30 デフリンピック開会式

11 月 16 日(日) 8:00 スプリントリレースタート / 12:00 スーパースプリント スタート

会場：日比谷公園(入場料無料、予約不要)

後半戦はフォレスト競技、競技フィールドは伊豆大島裏砂漠。

◆スケジュール

11 月 20 日(木) 10:00 ミドル

11 月 21 日(金) 9:00 ロング

11 月 23 日(日) 10:00 リレー

なかなかアクセスが難しいところですが、全競技にわたってネットによるライブ配信が行われる予定です。

日本デフオリエンテーリング協会よりお知らせ

公式 Instagram

<https://www.instagram.com/jdoanesw/>

公式 Web サイト

<https://orienteering-jdoa.mystrikingly.com/>

日々の練習の様子や応援動画をご覧ください。
オリジナルグッズの販売も行っていますので、
ぜひご覧ください！



jdoanesw
10月6日

**オリエンテーリング
競技日程表**

東京 Tokyo 11月15日 ~ 11月23日

※リレーは走順ではありません。

日付	時間	競技種目・出場選手	場所
1 11/15 (土)	08:00 10:00	スプリントディスタンス 男子：児玉、小崎、尾田 女子：辻、三宅、中森	日比谷公園
2 11/16 (日)	08:00 10:00 12:00 13:00	スプリントリレー 男子：堤、児玉 女子：辻、上園 スーパースプリントリレー 男子：小崎 女子：辻	日比谷公園
6 11/20 (木)	10:00 14:00	ミドルディスタンス 男子：堤、木村、庄村 女子：辻、上園、三宅	伊豆大島
7 11/21 (金)	09:00 14:00	ロングディスタンス 男子：堤、児玉、小崎 女子：辻	伊豆大島
9 11/23 (日)	10:00 14:00	リレー 男子：堤、木村、児玉 女子：辻、上園、三宅	伊豆大島

TOKYO 2025 DEAFLYMPICS
応援よろしくお願いします

♡ 57 5 6

ワールドゲームズは、オリンピックの補完的な意味合いをもつ国際総合スポーツイベントで、夏のオリンピックの翌年に開催されている。第12回大会は中国四川省成都市にて開催され、34競技に116の国と地域から4000人近い各競技のトップアスリートが出場した。オリエンテーリングは2001年に秋田県で開催された第6回大会から実施されており、8月6日～12日に24ヶ国から男女計80名がミドル、スプリント、スプリントリレーで競い合った。

2024年12月にタイで開催されたアジア選手権での好成績により、日本はアジア枠としての出場権を得た。男女2名ずつのフルメンバーでワールドゲームズに参加するのは、2009年の台湾大会以来、4大会ぶりのことであった。ミドルは小道を繋ぐトレインでの開催が予想されたことから、スプリントにフォーカスして選手選考を行った。当初全日本スプリントの勝者をまず選考する予定であったが、全日本スプリントが開催されなかったことから、独自の選考レースを実施しその勝者と、5月末日時点の日本スプリントランキングの上位から選考した。

選考後、国内では暑さ対策を兼ねた計7回のスプリント練習会を実施。現地では主催者が用意した公園でのトレーニング(8/6)のみに参加したが、中国との時差は1時間で時差ぼけの心配もほぼなかったことから調整期間としては充分だったと思われる。ミドル前日とスプリント前日には、それぞれ隣接トレインでのモデルイベントがあり、現地と地図との対比をチェックすることができた。

今大会での最大の目標は、地元開催の際、実力以上の力を発揮する中国(2019年中国でのW-Cupで7位)に勝つこととした。

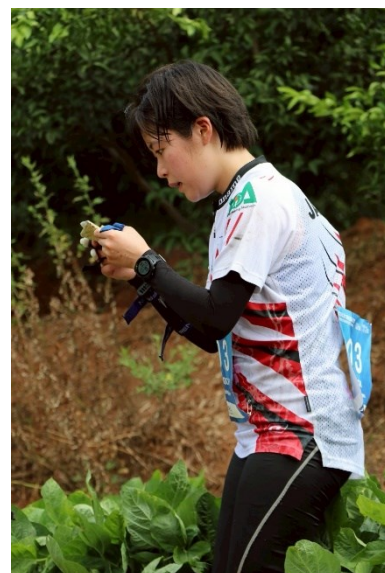


競技初日のミドルは35℃を超えるような高温高湿環境下のオレンジ畑、トウモロコシ畑のオープントレインで開催され、選手たちは終始直射日光を浴びることとなり、大半の選手がフィニッシュ後に救護所に運び込まれ、アイスバスと呼ばれる氷水に浸かる異常事態となった。日本選手は猛暑とオレンジととうもろこしの間の細いあぜ道に置かれた見つけにくいコントロールに苦戦し、ライバル中国の後塵を拝する結果となったが、幸いにも暑さによるダメージは最小限に抑えられた。

なお、このレース中イタリアの男子選手が救急搬送され、4日後に死亡するという事故が発生した。熱中症が原因である可能性が高いと思われるが原因についての正式な発表は9月末時点でアナウンスされていない。

レストデーを1日挟んだスプリントは時折雨が降る滑り易い公園トレインで実施され、二俣選手が終盤まで17位に相当する好走を見せた。その後のミスで25位まで後退したものの翌日のスプリントリレーでの活躍を予感させるものであった。

最終日のスプリントリレーはスプリントと同じ公園で実施され、25℃前後の薄曇りの絶好のコンディションでの開催となった。1走の近藤選手は昨年のWOC、WUOCと同様素晴らしい走りでトップと1分差の集団中の7位で2走に繋ぎ、二俣選手も2日連続の好走で集団がばらけつつある中でもトップから1分42秒差の10位で3走にタッチ。ライバル中国に約2分の差をつけた。加藤選手も持ち前の走力を発揮して11位でアンカーへ。この時点で最終的に7位に入ったラトビアとは僅か18秒であった。アンカーの樋口選手も堅実な走りを見せ、ビジュアルコントロール時点では昨年のWOCで7位だったイギリスより先行していた。最終盤でイギリスにかわされたものの、中国には33秒差で勝利し、今大会の最大の目標を達成することができた。





目標を達成できたのは、選手の弛まぬ努力と皆さまからの絶大なる応援、ご支援の賜物です。スプリント種目に重点を置く選手たちは来年イタリアで開催される WOC に向けて準備を進めてまいります。これからもご支援ご鞭撻をどうかよろしくお願い致します。



写真：大会公式サイト、強化委員会より提供

Team O JAPAN の X: <https://x.com/TeamOJapan>

AsJYOC 2025 大会サイト: <https://www.theworldgames.org/>

成績抜粋

8月8日 ミドル

男子

1	Riccardo RANCAN	SUI	45:22
2	Francesco MARIANI	ITA	47:43
3	Vegard J. WESTERGARD	CAN	47:48
25	加藤 賢斗	JPN	1:13:32
27	二俣 真	JPN	1:17:48

女子

1	Simona AEBERSOLD	SUI	40:08
2	Tereza SMELIKOVA	SVK	43:52
3	Alva SONESSON	SWE	46:26
24	近藤 花保	JPN	1:05:33
26	樋口 佳那	JPN	1:08:24

8月10日 スプリント

男子

1	Yannick MICHIELS	BEL	14:59
2	Tomas KRIVDA	CZH	15:15
3	Zoltan BUJDOSO	HUN	15:22
25	二俣 真	JPN	17:45
35	加藤 賢斗	JPN	19:23

女子

1	Simona AEBERSOLD	SUI	15:00
2	Natalia GEMPERLE	SUI	15:53
3	Maria PRIETO	ESP	16:25
25	近藤 花保	JPN	19:11
31	樋口 佳那	JPN	20:16

8月11日 スプリントリレー

1	Switzerland	58:04
2	Sweden	58:09
3	Czechia	58:19
11	Japan	1:05:32
1走	近藤 花保	15:50
2走	二俣 真	15:02
3走	加藤 賢斗	16:17
4走	樋口 佳那	18:23

●世界トレイル O 選手権大会(WTOC)2025 報告

(トレイル O 委員会、WTOC2025 代表チーム 田代雅之)

8 月 26 日(火)-31(日)の日程で、世界トレイルオリエンテーリング選手権(WTOC2025)が開催されました。IOF 初の試みとなる 2 国開催で、前半 PreO(2 日間総合の個人戦)はハンガリーで、後半リレー(3 名による国別対抗)と TempO(午前・午後の予選・決勝方式の個人戦)はスロバキアでの開催でした。

[日程]

ハンガリーラウンド

8 月 26 日(火) モデルイベント(PreO)、開会式
8 月 27 日(水) PreO day1
8 月 28 日(木) PreO day2、バンケット

スロバキアラウンド

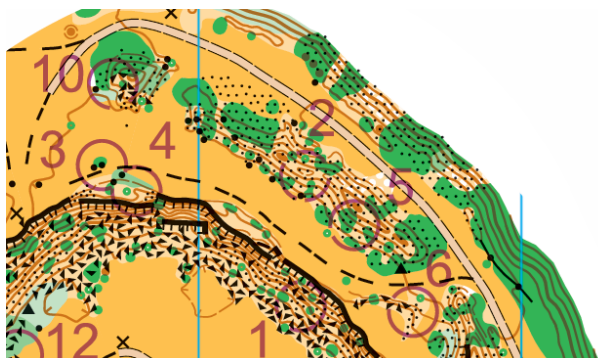
8 月 29 日(金) モデルイベント(TempO)
8 月 30 日(土) リレー
8 月 31 日(日) TempO、閉会式

[日本チーム選手団]

岩佐佳祐(東大 OLK) [PreO/TempO]
岩田健太郎(つるまい OLC) [リレー/TempO]
大久保裕介(ES 関東 C) [PreO]
田代雅之(静岡 OLC) [TempO]
伴毅(京都 OLC) [PreO/リレー/TempO]
平山遼太(千葉 OLK/KOLA) [PreO/TempO]
山口拓也(浜松 OLC) [PreO/リレー]
荒井正敏(多摩 OL/外濠之会) [オフィシャル]
茅野耕治(ワンダラーズ) [オフィシャル]



ハンガリーラウンドの PreO では、オープンの中の地形、岩、植生の特徴を読み取る課題が中心でした。

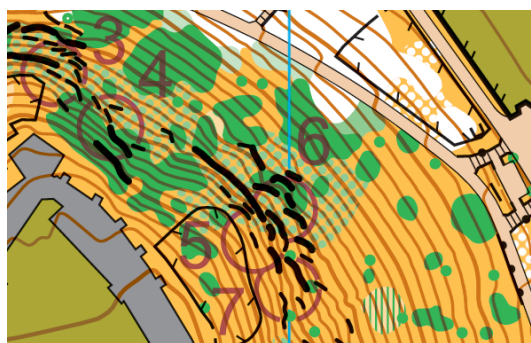


WTOC 2025 PreO Day1					
Part1		130 m			
▷					ZT
1	A-C	↘	∩	~	8
2	A-C		○		12
3	A-C	→	▲		12
4	A-C		∩		12
5	A-D		※		8
6	A-D		∩		8



日本チームは day1、山口選手が好調で、Finish 時点で 1 ミスで抑えた初の選手となり、その時点でトップに立ちましたが、世界の強豪はさらにその上を行き、day1 終了時にはノーミスでクリアした選手が 20 名。day1 終了時の日本チームの最高位は 30 位の山口選手ですが、トップとは 1 ポイント差ですから、もちろん上位を狙える位置です。

day2 は、高台にある城塞の斜面を下から見上げるパートと、平坦な草原のようなトレインのパートの混合。この日もノーミスでクリアした選手が 13 名と、ハイレベルな闘いでした。2 日間総合の日本チームの最上位は伴選手の 54 位でした。

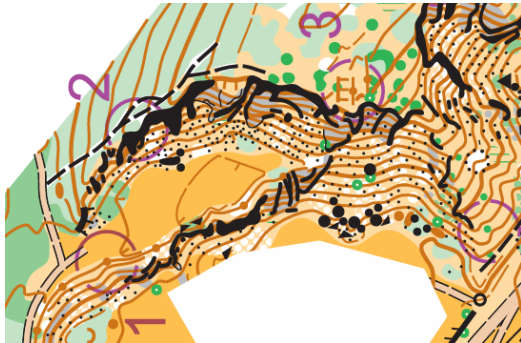


PreO 成績

day1 ポイント+day2 ポイント、TC(day1 秒数+day2 秒数、ポイント合計同点の場合、少ない方が上位)

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1. Anders Höije(SWE) 36+33, 53s+62s | 65. 山口拓也 35+28, 101s+118s |
| 2. Tommi Hakuli(FIN) 36+33, 62s+65s | 84. 平山遼太 33+27, 109s+239s |
| 3. Robertas Stankevič(LTU) 36+33, 59s+75s | 102. 岩佐佳祐 26+27, 288s+274s |
| 54. 伴毅 33+31, 189s+127s | 105. 大久保裕介 26+26, 309s+282s |

後半スロバキアラウンドは、まずは 8/30(土)のリレー。3 名合計の制限時間の中で 3 人が継走して PreO パートを、各走者ごとに PreO パートが終わったら TempO パートを競技し、その合計成績で競います。日本チームは山口-伴-岩田のオーダー。PreO パートではそれぞれが 1~2 ミスに抑えましたが、ノーミスでクリアする国もあり、1 ミスが 60 秒換算の PreO パートで差を付けられ、上位進出はなりませんでした。



リレー成績

1 走秒数+2 走秒数+3 走秒数、各走者の秒数=ミス数(秒換算)+TempO パート秒数

- | | |
|-------------|---|
| 1. Czechia | 540s (0s+218s)+(0s+158s)+(0s+164s) |
| 2. Italy | 611s (0s+202s)+(0s+228s)+(0s+181s) |
| 3. Slovakia | 647s (0s+194s)+(0s+138s)+(0s+315s) |
| 18. 日本 | 1251s 山口(120s+289s)+伴(120s+208s)+岩田(60s+454s) |

最終日は TempO。2 組に分かれて午前に予選を行い、各組上位 18 名が午後の決勝へ。正式種目となった 2013 年以降毎回予選通過していた日本チームですが、今回はあと一歩のところまで決勝進出はなりませんでした。

TempO 予選

(Heat-A)

- | |
|------------------------------|
| 1.Anders Haugskott(NOR) 208s |
| 18.Marián Mikluš(SVK) 481s |
| --- border --- |
| 19.平山遼太 491s |
| 37.岩田健太郎 589.5s |
| 52.岩佐佳祐 936.5s |

(Heat-B)

- | |
|-----------------------------------|
| 1.Krystian Petersburski(POL) 276s |
| 18.Jacek Wieszczewski(POL)458.5s |
| --- border --- |
| 21. 伴毅 479s |
| 47.田代雅之 704s |

TempO 決勝

- | | | |
|----------------------------|---------------------|-------------------------|
| 1.Marcello Lambertini(ITA) | 2.Anders Höije(SWE) | 3.Anders Haugskott(NOR) |
|----------------------------|---------------------|-------------------------|



今回は2国開催ということもあり、大会途中でハンガリーからスロバキアへの長距離移動を伴いましたが、大きなトラブルもなく、それぞれ特徴のあるトレインで競技を行うことができました。

最後になりますが、大会参加に向け応援していただいた皆様に感謝の言葉を申し上げます。

大会公式サイト <https://wtoc2025.org/>

成績サイト <https://top.yq.cz/event/world-trail-orienteeing-championships-2025>

●今後の公認大会・国際大会・講習会のお知らせ （事務局）

2025 年

10 月 19 日	ねんりんピック岐阜 2025 オリエンテーリング併設 JOA 公認大会	(岐阜県)
10 月 25-26 日	ナビゲーション講習・スキル検定 シルバーレベル	(関東)
11 月 9 日	第 34 回全日本リレーオリエンテーリング大会	(滋賀県)
11 月 15-25 日	東京 2025 デフリンピック	(東京都)
12 月 13-14 日	ナビゲーション講習・スキル検定 シルバーレベル	(大阪府)

2026 年

2 月	ナビゲーション講習・スキル検定 シルバーレベル	(愛知県)
2 月 8 日	第 18 回全日本オリエンテーリング選手権大会(スプリント競技部門)	(兵庫県)
2 月 28 日-3 月 6 日	WUSOC2026 スキーオリエンテーリング世界選手権	(北海道)
3 月 10-20 日	イベントディレクタ認定試験	
3 月	ナビゲーション講習・スキル検定 ゴールドレベル	(大阪府)

2027 年

5 月 21-29 日	WMOC2027 マスターズ世界選手権	(兵庫県)
-------------	---------------------	-------

以上